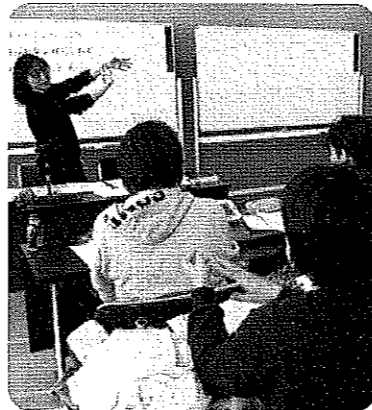


おでかけデイサービス夢コープいた

新年明けましておめでとうございます。  
昨年4月に始めました「おでかけデイサービス夢コープいた」ですが、「生きいきサロン」からの方や新規の方などが集まり、楽しいおしゃべりに花が咲き、電話の音が全く聞こえないほどにぎやかな状態です。朝はストレッチから始まり失禁予防、転倒予防、認知症予防、口腔体操などの介護予防の体操をゆっくり1時間30分かけて行っています。皆さん本当に熱心に取り組んでいらっしゃいます。

西部事業所

今年度は外部から理学療法士、薬剤師、デイサービスの所長など様々な職種の方々にそれぞれの立場からお話を聞く機会に恵まれています。12/2(土)にはデイサービスの看護師さんから体調観察について学びました。バイタルチェックの実技指導を受け、血圧計の正しい使い方などについて確認できました。他に入浴時やペースメーカー、誤嚥についての留意点なども教えていただき有意義な時間でした。ご利用者が平穩に過ごしていただけるような援助をしていくためにも私たちヘルパーは元気でなくてはなりません。自身の体調にも気をつけていきたいですね。



定例理事会 12月22日(金) 協議事項

- ①西部事業所居宅介護支援事業について
- ②通所送迎規程の制定
- ③サービス提供責任者及び  
コーディネーターの年末年始の  
ヘルパー活動について

11 月度活動結果報告

ヘルパー会員数	492名	実働数	420名
事業	活動時間数		
くらしの助け合い	3728.50 時間		
介護保険	6419.25 時間		
障害福祉サービス	1429.50 時間		
居宅介護支援	要介護	総合事業・予防支援	
	501名	209名	
施設名	開所日数	当月利用者数	利用者数/1日
どうぞの家	26日	20名	7.54名
夢コープふじ	26日	20名	8.65名
夢コープいた	20日	35名	9.90名

講演会のお知らせ

人は人を浴びて人になる  
お話：夏莉郁子さん(児童精神科医)

略歴

児童精神科医、医学博士。1954年生まれ。浜松医科大学を卒業後、同精神科助手、共立菊川病院、精神科浜松病院を経て、2000年に焼津市に「やきつべの径診療所」を夫とともに開業する。

日時：平成30年1月27日(土)  
14:00~16:00(受付13:30~)  
会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ  
4階第1研修室  
聴講料：1,500円  
(申し込み受付後に参加のご案内をお送りいたします。同封の郵便振替用紙にてお振込ください。)  
募集人数：80人(定員になり次第締め切ります。)

申込み・問い合わせ先：特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会  
TEL 054-255-7357 / FAX 054-254-5208

夢コープ  
ニュース

特定非営利活動法人  
ワーカーズコープ夢コープ  
〒420-0851  
静岡県葵区黒金町12-5 丸伸ビル6F  
TEL 054-275-1100  
FAX 054-275-1133  
MAIL honbu@yumecoop.jp  
http://www.yumecoop.jp/

2018年1月

あけましておめでとうございます。

年末年始のご利用に協力して下さったヘルパーさん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。

平成30年度は、6年に一度の介護報酬と診療報酬のダブル改定がありますが、その内容が少しずつ明らかになってきました。特徴の一つに挙げられるのがサービスの給付抑制で、福祉用具、通所介護、訪問介護に焦点が当たっています。訪問介護では、身体介護として行われる「自立支援のための見守りの援助」を明確化するとともに、身体介護に重点を置くなど、身体介護・生活援助の報酬にメリハリをつける方向で検討が進められています。通所介護では、サービス提供時間区分の見直しで、基本報酬を

2時間ごとの設定から、事業所のサービス提供時間の実態を踏まえて、1時間ごとに見直すなどが挙がっています。報酬単価等が決まるのは2月以降になると思われませんが、サービス事業者はもとより、ご利用者にとっても大きな影響を受けることになりそうです。

夢コープは、地域の社会福祉に貢献したいという思いを持って設立し、これまで活動してきました。これからも8事業所それぞれの地域性や特徴を考へて、知恵を出し合い、お互いを認め合って一つの夢コープとして継続していけるよう、努力を重ねたいと思います。

本年もよろしくお願ひいたします。

理事長 川村千代子

紫色の

夢コープ手帳を開こう

夢コープの思いがたくさん詰まった夢コープ手帳(手帳と呼ぶには少し大きいですが)は、1993年に1号が誕生してから25年、内容を更新しながら今に至っています。その中に「ひやりハットの重要性」というページがあります(P34)。年の初めにまず手帳を取り出して読んでみましょう。「ひやりハット」のことわかりましたか? 残念ながらこれまで、ひやりハット報告は

~事故防止のために~

あまり提出されていません。仕事が終わると忘れてしまったり、書くことが面倒だったりするからかもしれません。しかし、ひやりハットとは「ご利用者の危険や事故を防ぐための大切な気づき」です。私たちは、事故を防止するという大事な役割を持った援助者です。ひやりハットに対する意識を高め、小さなことでも気づいたことを報告していきましょう。

ヘルパーさんの  
活動中にあった  
ちょっといい話

Aさんは歩行が不安定なので以前はヘルパーと一緒に百貨店へ出かけ、好みの惣菜や食材を買っていました。一年経ち「ヘルパーさんの買い物はとっても楽しみ、一緒に出かけることが喜び」と言われるようになり、今夏より調理が始まりました。ヘルパーと献立を考え、一緒に買い物をして、一緒に料理されるようになってきました。ご自分が食べたいと思えるメニューが増えてきて、胡麻和え・白和え・里芋煮・肉じゃが・カレー等を作っています。ふたりで行う料理のレパートリーが徐々に増えてきて、彩りゆたかな食卓になってきているようです。

西部 M.N

数か月前、ご利用者から「笑う」ことに対してサービス提供責任者を通して指摘を受けました。気まずいなあ…と思ながらもそのままそのお宅への訪問を継続することに…。活動の前から緊張して、活動中も細心の注意を払って行いました。最近ではご利用者から「ありがとう。また来てね」と言っていただけになり、ホッと一安心。「ああヘルパーをやっていて良かった…」と感じる一瞬です。

しだ S.N

調理の支援で入っているSさん。一緒に調理した後、次回作りたいメニューと一緒に考え、必要な材料を用意してもらっています。初めのころはヘルパー任せだった調理も、以前はみそ汁など簡単な料理を作っていたのが、最近では材料を見て「こんな料理を作ってみたいな」と言ってくれるようになりました。積極的に調理もしてくださるようになり品数も増えてきました。今では毎回ヘルパーとメニューを考えて調理することを楽しみにされています。

富士 S.M

認知症のHさんをいつもニコニコ笑顔で介護している息子さん。「お母さんは何でもすぐ忘れちゃうのに、僕が小学校の時忘れ物したことはよく覚えているんだよね(笑)」そんなHさんの楽しみは息子さんと毎晩晩酌すること。98歳ながら赤ワインやハイボールを飲み、つまみはラフランスの生ハム載せ。両目周りをピンクに染めたHさんはとてもかわいらしいです。

富士宮 Y.N

「おでかけデイいた」の送迎車を運転するようになって9ヶ月が過ぎました。送迎時に見る車窓からの風景に利用者さんたちは敏感に反応してくださいます。車内は楽しい会話で溢れています。そして降りるときは必ず「こうして送り迎えをしてもらって、一日楽しく過ごさせてもらって本当にありがとうね」「『いた』に来るのが毎週楽しみだよ」とおっしゃってくださいます。その言葉を聞くと私たちもうれしい気持ちになります。送迎には細心の注意を払い、緊張して運転していますが、車内での楽しいひとときは本当に癒されます。車窓から見る四季折々の風景にこれからも楽しいコメントをお願いします。

いた K.S

デイサービスどうぞの家では、いつもお隣の幼稚園から園庭や畑で走り回る園児達の元気な声が聞こえてきます。園の畑で育てた聖護院大根をおすそ分けしていただきました。まず半分は厚揚げと一緒に煮物にしてみました。さて、もう半分どうしましょう?? そうですね聖護院大根といえば千枚漬けの大根だな…と残りの半分はスライスして、ジップロックに入れて千枚漬けを作ってみました。昆布や柚子の香りで上品な味の漬物ができました。みんなで丸ごと美味しくいただきました。

どうぞの家 Y.N

にっこり笑顔満開の顔を拝見できた時、「幸せ」な気持ちになります。大腿部頸部骨折で入院・リハビリを終え、自宅に戻られた方の所に週2回訪問しています。歩行器で近くのスーパーまで歩いて買い物に行けるようになることが彼女の目標。2ヶ月が経ち、先日目標のスーパーの入口までたどり着くことができました。「まさかこんなに早くここに来れるなんて」と感慨深げでした。「ヘルパーさんが来てくれたお陰ね!」と。ご主人からも「身体のぶれや片寄りがなくなったね!」と喜んでくださいました。お二人の生活が「歩」その人らしい生活に近づくことができました。

沼津 H.M

2ヶ月ほど前からご利用されているOさんは活動終了後は、いつも外まで出て見送ってくれます。その日、玄関を出た私に「ちゃんと靴をはきなさい!」とお叱りが…。私は靴のかかとを踏んでいたことを叱られ、母に世話をやかれたようで恥ずかしくも、嬉しい気持ちに。それは、日頃お世話されることを好まれていないとも思えるOさんが、満足そうな笑顔だったからです。本来とても「世話好き」なのは…というOさんの一面を知ることができ、今まで以上に良い関係を築いていけるといいなあと思いました。(靴は踵の踏めるタイプで運転時などはきちんと履いていますよ!)

中部 S.N

Aさんの家の手前には踏切があります。この時間は長く止められちゃう。上りが来るとすぐ下り、貨物も来た。その時私の車の横で乳母車に乗ってお母さんと一緒に電車を見ていた子供が歓喜の声をあげました。足をばたばたさせながら手を振っています。うちの孫も列車が好きであっちこっち旅行しながら見に連れて行ったことが懐かしく思い出され、自然に笑みがこぼれました。するとその男の子が私に「バイバイ」と言って小さな手を一生懸命振ってくれました。え!!今度は私にも?男の子と若いママの優しい笑顔にパワーをもらった私でした。

清水 T.K

耳の聞こえないYさんとは、筆談や身振り手振りで指示をいただいて活動しています。ある時、入院したことをきっかけに少々認知症の傾向が感じられるようになりました。気持ちも弱くなられた様子だったので、活動前後にノートを使って「今日はいい天気ですね」から始まる雑談をするようにしました。毎回続けていくうちに、少しずつ元のYさんの様子に戻り、伺った時にほんの少し喜んでいただいているようで、少しでもお力になれたのかな…と嬉しく思いました。

静岡 S.S